



F*グループ ジョイント リサイタル

*group
joint recital*

1999. 10. 15 (金) 6:30 p.m. フェリスホール

主催 フェリス女学院大学音楽学部同窓会

後援 フェリス女学院大学音楽学部

“1, 2 の 3”

野球の打法と音楽の奏法には多くの共通点が見られる。

野球の球はつまり人の声、楽器の音である。バッターがホームランを打つためには、力まず球をバットの芯に当てることだという。

ホームランを打った時の感覚を落合選手は、フワッとして、何となく物足りない感じだという。物足りない感じがするのは、力んでいないからであろう。そしてバットの芯は奏法で求められる響きのポイントに言い換えられる。脱力によって捉えた響きのポイントから発する音は、ホールの中で豊かに響く。落合選手は巨人の高橋選手の芯を捉えた打法について、高橋選手の打法の凄さは“1, 2 の 3”つまり“1, 2, 3”ではなく、2と3の間に「の」がはいることにあると語る。

この「の」というのは「間」のことで、間の中で、溜めを作ると同時に客観的に球質を見極めているという。これは正に奏法の真髄でもある。いい音をつくる時に必要なのは、この溜めと客観性なのだ。

これは音楽人生にも当てはめられる。1, 2（学生時代）の後に果たして「の」があったであろうか。3（演奏）が楽しみである。

フェリス女学院大学音楽学部学部長 渡邊 明

本日はお忙しい中、Fグループのコンサートにお越し下さいましてありがとうございました。

在学中は、先生方から沢山の音楽教育を受けた私達も、卒業後は自分の頭と心で音楽を求めて行き、そこには終わりがありません。

そして音楽家にとって最も大切な演奏の場を出来るだけ多く作るのがFグループの役目だと思っております。

今日出演の方々も一生懸命がんばっております。どうぞこれからも応援をよろしくお願い致します。

Fグループ会長 中田幸子

プログラム

独 唱 石田 万智 (48回生) 伴奏 田口涼子 (48回生)

シューベルト：ガニュメート
ミューズの子
メンデルスゾーン：恋する女の手紙
夜の歌

独 唱 齋藤 定子 (12回生) 伴奏 熊本美也子 (17回生)

信時潔：「沙羅」 詩：清水重道
1. 丹沢 5. 鴉
2. あづまやの 6. 行々子 (よしきり)
3. 北秋の 7. 占ふと
4. 沙羅 8. ゆめ

2台ピアノ 第1ピアノ 田村 郁子 (32回生) 第2ピアノ 脇谷 敦子 (32回生)

ラヴェル：スペイン狂詩曲
1. 夜への前奏曲 3. ハバネラ
2. マラゲーニャ 4. 祭り

— 休 憩 —

ピアノ独奏 田口 純子 (24回生)

ドビュッシー：版 画
I 塔
II グラナダの夕暮れ
III 雨の庭
喜びの島

チェンバロ 独 奏 山名 朋子 (33回生)

J.S.バッハ：前奏曲とフーガ 嬰ハ短調 BWV849

弦楽合奏 Fグループ・アンサンブル 指揮 久山恵子

レスピーギ：リュートのための古風な舞曲とアリア第3組曲
1. イタリアーナ 3. シチリアーナ
2. 宮廷のアリア 4. パッサカリア
J.S.バッハ：アリア・管弦楽組曲第3番 BWV1068より

ヴァイオリン 岡崎 光子(11回) 日比野容子(14回) 中島美代子(15回) 齋藤 幸枝(16回)
山本久美予(17回) 福井 直美(20回) 柴田美和子(21回) 島田友香子(21回)
篠原 純子(24回) 犬飼 美奈(48回) 中川 里奈(48回)

ヴィオラ 植村 映子(15回) 神原 直子(15回) 守本 純子(20回) 島尾倭文子(賛助出演)

チェロ 井上 雅代(賛助出演) 中田 有(賛助出演)

コントラバス 赤池 光治(賛助出演)

チェンバロ 山名 朋子(33回)



石田 万智 (第48回卒)

フェリス女学院大学音楽学部声楽学科卒業。在学中、学内特別演奏会オーケストラ協演の夕べに出演。田中奈美子氏に師事。

このような演奏会に出演させて頂ける事に大変感謝しております。ドイツリートは素晴らしい詩と美しい旋律が密接な関係を持つ芸術歌曲です。その詩は自然との語らいやあこがれであったり愛する者への秘かな思いであったり、現代に生きる私達をふっと美しい世界へと導いてくれます。そして美しい音楽によってより深く私達の心に響かせます。

そんな音楽を演奏する喜びと感謝を胸に、心を込めて演奏します。

田口 涼子 (伴奏者) (48回卒)

フェリス女学院大学音楽学部器楽学科卒業。

在学中器楽科優秀賞受賞。同大学卒業記念演奏会に出演。第69回読売新人演奏会に出演。

第15回かながわ音楽コンクール第2位入賞。

同入賞記念演奏会に出演。大島君子、宇野紀子の各氏に師事。現在同大学大学院音楽研究科修士課程在学中。



斎藤 定子 (12回卒)

フェリス女学院短期大学音楽科卒業。倉長治子、田中伸枝、江口元子、クリスチャン・デ・ブロイン、田口久仁子の各氏に師事。第31回読売新人演奏会出演。ドイツ歌曲や日本歌曲を主流に研鑽をつみ、過去6回のリサイタルを静岡市、富士市等で開催。その他数多くの演奏会に出演。近年は主に、お客様と一体化出来る様なサロンコンサートのものに重点を置いた演奏活動を行っている。

若い頃だったら、おそらく選曲しなかつたであろうと思うこの信時潔の「沙羅」は、曲が大変地味ではあるが、旋律のシンプルさに加えて、全8曲を通して使われている、所謂「やまとことば」の美しさ、味わいの深さに魅かれ今回あえて取り組んでみました。各曲の趣きが各々異なり、ある曲は墨絵の濃淡を表している様だったり、又ある曲は狂言風であったりと、私なりの曲作りに四苦八苦・・・さて、どうなりますか。

熊本美也子 (伴奏者) (第17回卒)

フェリス女学院短期大学音楽科卒業。同専攻科修了。故三宅洋一郎氏に師事。ソロ・デュオ、伴奏等の演奏を続けている。

横浜音楽文化協会、日本バイオミュージック学会会員、フェリス音楽教室講師。



田村 郁子 (第32回卒)

フェリス女学院短期大学音楽科卒業、同専攻科修了。山岡優子氏に師事。神奈川県新人演奏会出演。平塚音楽家協会会員。フェリス音楽教室講師。

脇谷 敦子 (第32回卒)

フェリス女学院短期大学音楽科卒業、同専攻科、研究科修了。故三宅洋一郎氏に師事。在学中、学内演奏会にてオーケストラと協演、読売、NHK新人演奏会出演。フェリス音楽教室講師。

デュオ歴

共にソロ伴奏活動の他、各地での演奏会にデュオで出演。久保浩氏、安藤友侯氏に師事。国際ピアノデュオ協会会員、横浜市民広間演奏会会員。

私達はアンサンブルの楽しさにとりつかれています。自分の音楽を静かに燃やしながらも、お互いのやりとりの中で、いつしか相手の音に惚れ、相手が気持ち良く歌える事を考えています。これはフェリスの精神 For othersに通じるのではと最近感じているのです。

……今春私達が訪れたスペインの夜は、深まるほど人々が活気づき、このまま明けないのではと思える不思議な時間でした。

この私達の様々な想いを演奏で表現できたらと思っています。



田口 純子 (第24回卒)

フェリス女学院短期大学音楽科卒業。同専攻科修了。故塚原瑛子、園田高弘の両氏に師事。

渡仏、パリ国立高等音楽院にてピアノをレイモン・トゥルアール、マルセル・ウー克蘭、室内楽をジャック・デュモン、ネリ・パスキエの各氏に師事。ピアノと室内楽をプルミエ・プリ(1等賞状)で卒業。フランス・アードローにてリサイタル開催。帰国後は自主リサイタルの他、神奈川県立音楽堂推薦音楽会、NHK FM 午後のリサイタル等出演。また室内楽の分野では、チェロのアンドレ・ナヴァラ、ホルンのペーター・ダム、フルートの金昌国、ヴァイオリンの古澤巖各氏等と共演。現在、フェリス女学院大学音楽学部講師。

この演奏会のご依頼をお受け致しました時、パリから帰国後、県民小ホールで弾かせていただいた演奏会の事をなつかしく思い出しました。今では母校のホールに素晴らしいフルコンサートピアノやオルガンが揃っており、今後の母校の大いなる発展を願わずにはられません。



山名 朋子 (第33回卒)

フェリス女学院短期大学音楽科(ピアノ専攻)卒業。同専攻科、研究科卒業。幸島仔緒子、宇野紀子の両氏に師事。卒業後チェンバロを始め、1989年古楽コンクール山梨(チェンバロ部門)第3位に入賞。1990年よりオランダ政府給費留学生として渡欧。アムステルダムのスウェーリンク音楽院チェンバロ科とフォルテピアノ科をそれぞれソリストディプロマを取得し卒業。渡邊順生、G・レオンハルト、S・ホーホルンドの各氏に師事。1996年帰国。

久山 恵子 (指揮者)

桐朋学園で斎藤秀雄氏に、指揮法及びオーケストラの指導法を学ぶ。ジョージ・セル、ストコフスキー等にも師事し、海外で研鑽・活躍の後、帰国。プロのオーケストラの指揮だけではなく、地方や大学のオーケストラにも数多く客演し、演奏会、TV、放送と幅広く活躍している。1998年1月よりFグループアンサンブル指揮者。

Fグループアンサンブル

今回は、久山恵子先生指揮のもとでの、初めての演奏会です。先生の厳しい御指摘で、自分自身の音を正しく聴く事、音程や響きを合わせ、リズムを合わせるアンサンブルの基本について、私達の甘さを自覚した所から、今回の演奏会に向けての練習がスタートしました。40代、50代、仕事に家庭に様々な変化の多い時期ですが、名古屋、仙台、日立等遠方からの参加者も含め、メンバー各々が、月に1度の練習を大切に位置づけ、積み重ねてきました。今春から2人の新卒業生も加わっています。音楽を愛する気持、合奏する喜び、そして亡き恩師久保田良作先生から多くを学んだ、ヴァイオリンを美しく響かせる事へのあこがれが、メンバー共通のベースになっています。低音部を支えて下さる賛助出演の皆さん、通奏低音の山名さん(33回生)共々、久山先生の指揮に心を合わせて、美しい音楽を表現したいと思います。

F*グループ ジョイント リサイタル

group joint recital

声楽 • 石田万智 (48回生) 伴奏 田口涼子 (48回生)
シューベルト：ガニュメート 他



声楽 • 斉藤定子 (12回生) 伴奏 熊本美也子 (17回生)
信 時 潔：「沙羅」より



2台ピアノ • 田村郁子 (32回生)
脇谷敦子 (32回生)
ラヴェル：スペイン狂詩曲



ピアノ • 田口純子 (24回生)
ドビュッシー：版画・喜びの島

弦楽合奏 • Fグループ・アンサンブル 指揮 久山恵子
チェンバロ 山名朋子 (33回生)
J.S. バッハ：前奏曲とフーガ 嬰ハ短調 BWV 849

岡崎 光子 (11回) 日比野容子 (14回) 植村 映子 (15回) 神原 直子 (15回) 中島美代子 (15回)
斉藤 幸枝 (16回) 山本久美子 (17回) 福井 直美 (20回) 守本 純子 (20回) 柴田美和子 (21回)
島田友香子 (21回) 篠原 純子 (24回) 犬飼 美奈 (48回) 中川 里奈 (48回)

(賛助出演) 井上 雅代 島尾倭文子 中田 有 赤池光治

レスピーギ：リュートのための古風な舞曲とアリア 第3組曲
J.S. バッハ：アリア 管弦楽組曲第3番 BWV 1068 より

1999.10.15 (金) 6:30p.m. 開演
フェリスホール (山手校舎) / ¥2,000

主催 フェリス女学院大学音楽学部同窓会

後援 フェリス女学院大学音楽学部

お問合せ Fグループ同窓会事務局

T.F. (045) 681-6740 (木曜日 10:00~17:00)

井上眞記子 T.F.

